

解決したい課題	食品ロスを削減し、必要な人に食料を届けたい。
関連するSDGsの番号	1.貧困をなくそう 2.飢餓をゼロに 3.すべての人に健康と福祉を 12.つかう責任 つくる責任
提案を募集する背景・現状	令和4年度の日本の食品ロス発生量の推計値は年間約472万トン、日本人1人あたりに換算すると毎日お茶碗1杯分約103グラムを捨てている計算になる。そのうち、家庭から出る食品ロスだけでも、約236万トンあり、主に食べ残し、賞味期限切れなどによる手つかずの食品の廃棄、厚くむきすぎた野菜の皮などが原因となっている。 食品ロスは、SDGsのターゲットの1つとして、2030年までに世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させることが盛り込まれている。 食品ロスが発生する一方で、生活困窮者支援団体、福祉団体等は食品を必要としており、支援活動の拡大が不可欠となっている。
想定する解決策の例	フードドライブの実施 (1) 食品の寄付の受付 池田市に寄付いただいた食品を生活困窮者等に提供する。 (2) 食品受付窓口の拡大 民間の店舗、事業所などでフードドライブを実施し、支援の輪を広げる。
課題解決に向けてこれまでに実施したことがある(実施している)主な取組	民間フードバンクの活用 池田市社会福祉協議会のフードパントリーからの寄付 池田市ホームページでのフードドライブ協力依頼
実施したことがあればその結果	食品の必要数は十分に満たせていない。 また、民間のフードバンクは遠方にあり、必要な時に食品の提供を受けることが難しい。
事業所管課からのPR	昨今の食品の価格高騰は、暮らしに直結する大きな問題です。生活に困窮されている方、食品を必要とされている団体を支援するため、余っている未使用・未開封の食品があれば、ご提供をお願いします。
募集期間	掲載日～令和8年3月31日
想定する実施時期	<input checked="" type="checkbox"/> 随時 <input type="checkbox"/> 令和 年 月～ <input type="checkbox"/> その他()
提案内容に関するお問合せ先(事業所管課)	福祉部生活福祉課 メール： s-fukushi@city.ikeda.osaka.jp 電話：072-754-6251